

研究成果展開事業
大学発新産業創出プログラム(START)
大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援

R4 年度補正予算(EDGE-PRIME Initiative)事後評価結果

令和7年3月26日
国立研究開発法人科学技術振興機構

<目次>

1. 制度概要	2
2. 評価の目的	2
3. 評価の方法	2
4. 総合評価結果のランクと基準	2
5. 評価結果	3

<対象プラットフォーム名>

- ・ 北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(HSFC)
- ・ みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)
- ・ Greater Tokyo Innovation Ecosystem(GTIE)
- ・ Tokai Network for Global Leading Innovation(Tongali)
- ・ 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(KSAC)
- ・ Peace & Science Innovation Ecosystem(PSI)
- ・ Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem(PARKS)

1. 制度概要

本支援は、スタートアップ創出の基盤となる人材の量や多様性を増やすため、拠点都市を中心に、アントレプレナーシップ教育の機会を高校生等(高校生、中学生、小学生及び高専生)へ拡大することを目的として、令和4年度第2次補正予算によって実施された。

2. 評価の目的

本評価では活動の実施状況や成果・課題を明らかにし、今後の成果の展開及び取組の改善に寄与することを目的とする。

3. 評価の概要

(1) 評価者

大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援委員会

(2) 評価方法

報告書の査読及び面接(プレゼンテーションによるヒアリング・質疑応答)

(3) 評価の観点

高校生等へ提供するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・運営やその体制の構築、本取組に関する広報・イベント等の実施、プログラムの定着に向けた取組の検討について、以下の点から評価する。

- ・ 当初の目標をどれだけ達成したか。
- ・ 適切に現状の課題が分析されているか。また、今後の対応方針は適切か。

4. 総合評価のランクと基準

総合評価のランクと基準は、以下の通り。

総合評価 ランク	基準
S	特に優れた成果があり、今後の高校生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会の拡大が特に期待できる。
A	十分な成果があり、今後の高校生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会の拡大が期待できる。
B	一部不足があるが、概ね一定の成果があり、今後の改善努力により高校生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会の拡大が期待できる。
C	成果が不十分であり、今後の高校生等に対するアントレプレナーシップ教育の機会の拡大には相当の改善努力が必要である。

5. 評価結果

5-1	北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(HSFC)4 頁
5-2	みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)5 頁
5-3	Greater Tokyo Innovation Ecosystem(GTIE)6 頁
5-4	Tokai Network for Global Leading Innovation(Tongali)7 頁
5-5	京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(KSAC)8 頁
5-6	Peace & Science Innovation Ecosystem(PSI)9 頁
5-7	Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem(PARKS)10 頁

5-1 北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(HSFC)

1. 活動概要 (HSFCの実施報告書より引用)

本取組では、北海道地域を起点とし、「社会を変える、10年後の世界を担う活躍人材を北海道に育成する」という明確なビジョンを掲げ、スタートアップ・エコシステムの構築を積極的に推進した。北海道の社会課題を解決する新たな価値を創出できるイノベーターを育てるため、特に次の3つの柱に注力した。

①支援体制・ネットワーク構築の更なる拡大

北海道庁、札幌市をはじめとした行政機関、道内各地の教育機関、地元企業、スタートアップ企業など多様なステークホルダーと強力なネットワークを構築し、各機関が持つリソースを統合・最適化することで、北海道全域を包括する支援体制を確立した。

②アントレプレナーシップ教育の道内浸透の加速化

北海道の小中高生及び大学生を対象とした多様で実践的な教育プログラムを開発・展開し、2023年度だけで延べ約4,600名の受講を実現した。地域ごとに特色あるプログラムを設計・導入したことで、地域課題を自分事として捉えることができる実践的な教育基盤を築いた。

③学生ベンチャー創出の機会提供

小中高生向けの初期的なアントレプレナーシップ教育から、具体的なスタートアップ支援やベンチャー創出の支援まで段階的に機会を提供した。起業を志す学生に対しては、メンターシップ制度、ピッチイベント、ビジネスコンテストを通じて実践的な支援を行った。

以上の取組により、北海道地域におけるアントレプレナーシップ教育の認知度向上、実践的な教育の定着、及び継続可能なエコシステムの構築に向けた確かな基盤を整備することができた。次年度以降は、更なる地域連携の深化、オンライン教材・研修の充実、成果検証体制の強化を進め、北海道から全国、さらにはグローバルに影響力を発揮できる人材育成基盤を強化していく計画である。

2. 評価結果

総合評価:A

3. 総合評価結果

受講者数が目標を超えて達成できたことを高く評価したい。多岐にわたるプログラムを実施し、北海道地域の将来を担う小中高の学生のベースアップができたことは素晴らしく、小中高で断絶しない教育を目指し、将来的に大学のプログラムへ引き込む可能性を高めているといえる。

一方で、教育委員会を巻き込んだ体制の整備や、プログラムをまだ届けられていない地域と都市部との格差の是正は課題として残っており、取組の継続を期待したい。

また、学生が北海道在住の起業家と接する機会を増やすよう工夫してほしい。

5-2 みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(MASP)

1. 活動概要 (MASPの実施報告書より引用)

本 PF は、高校生などへのアントレプレナーシップ教育を通じて、より早期の段階で社会価値創造への意識を芽生えさせ、自身のキャリアパスを考える機会を提供するとともに、不確実な状況下でも価値を創造できる人材を育成し、東北・新潟が抱える地域課題や国内外の課題解決に貢献できる人材を輩出することを目指している。

2. 評価結果

総合評価:A

3. 総合評価結果

アントレプレナーシップ教育を科学と社会実装の軸で考え、キャリアデザインの一環として優れたプログラムを実施し、オンデマンドコンテンツ等の多種多様なプログラムにより、多くの学生と教員の参加者を得た。特に、大学入学前の高校生が海外のアントレプレナーシップ教育を経験できる取組は、その後の意識醸成に非常に効果的であると考えます。また、保護者向けアントレプレナーシップ講座の開催や、教育委員会との連携を評価する。

一方で、参加者、学校を含めた広いコミュニティ形成という意味で、SNS や Web のより有効な活用の工夫があると良かった。今後、現状認識されている課題への対策を着実に進めつつ、活動を継続していくことを期待する。

5-3 Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)

1. 活動概要 (GTIE の実施報告書より引用)

GTIE プラットフォームは本事業において、高校生等へのアントレプレナーシップ教育への拡大やそれに資する取組みを既に行っている大学のアントレプレナーシップ教育ノウハウを集約・共有し、

- ・ 高校生等に対するアントレプレナーシップ教育プログラムの開発・提供
- ・ 体系化されたアントレプレナーシップ教育のノウハウ伝承を目指す指導方法や教材化と普及・伝播を実現するための基盤事業を展開した。

現在の GTIE 各機関の役割分担と人的リソース、組織的・プロジェクト的な高大接続推進の状況等を踏まえ、既に存在するプログラムをより面的活動に拡充させていくことや新たな先駆的な取り組みを進めることについて、主幹を早稲田大学とし、共同 4 機関の計 5 機関において本事業による資金を活用し精力的に活動し、それ以外の主幹・共同機関 GTIE 全体で、アントレプレナーシップの地域実態の可視化や隘路解消に効果的と考えられる施策・アプローチを進めた。

2. 評価結果

総合評価:A

3. 総合評価結果

多様なプログラムを開発するとともに、生徒向けと教員向けのアントレプレナーシップ教育を実施した点を評価する。また、生徒に親しみやすい「漫画」を活用した教材を開発したことは優れた取組といえる。

一方、他の地域に比して対象生徒数が多い首都圏としては、受講者数がやや物足りない印象を受けた。今後、本支援で構築した仕組みを活用し、さらに多くの生徒が受講できるよう取組んでほしい。首都圏には他の地域に比べて起業家が多いだけでなく、海外で活躍している人も多いという利点があるため、そのような人達と生徒が実際に接する機会をより多く提供していくことも有益だろう。

5-4 Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)

1. 活動概要 (Tongali の実施報告書より引用)

Tongali では、14 大学が連携して高校生等を対象としたアントレプレナーシップ教育を実施した。各大学がこれまでのアントレプレナーシップ教育において積み重ねた経験や知見を生かし、プログラムの設計を行った。結果的に、想定を大幅に上回る参加が得られ、高校生等へのアントレプレナーシップ教育の機会拡大によるその裾野拡大に寄与することができたと考えている。

2. 評価結果

総合評価：S

3. 総合評価結果

Tongali の参画機関が協力し、各地域において小中高の段階に合わせた 3 ステップで 39 のプログラムを作成、受講者数は目標の約 1.5 倍を達成した。地域としての連帯感ができつつあり、東海地区全体の底上げに貢献しているといえる。アントレプレナーシップ教育をキャリア教育の一環として捉えており、受講者の興味・関心を深めることに主眼を置けている点は高く評価できる。広報においても、SNS を活用し、受講対象者・受講申請者を意識して緻密な創意工夫をされている。

Tongali の取組について他のプラットフォームと情報交換し、他のエリアの気づきや交流を生み出し、リーダーシップを発揮してもらいたい。

5-5 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(KSAC)

1. 活動概要 (KSAC の実施報告書より引用)

京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)は、令和7年度末までに、世界有数のグローバル拠点となるべく大学発スタートアップを生み出し、その中からユニコーン企業を輩出する基盤の構築をめざしている。その目標達成に向けて、KSAC のアントレプレナーシップ人材育成プログラムでは、社会のあらゆる分野で積極的に新しい価値創造にチャレンジし、独創的な夢の実現をめざすアントレプレナー人材の育成に取り組んでいる。

2. 評価結果

総合評価：S

3. 総合評価結果

ターゲットとする教育の方針を区分した上で、育む人材像の設定、複数のプログラム設計、適切なコンテンツにより、目標を上回る受講者の参加を得ている。また、講座やワークショップをウェブサイトで公開していつでも利用可能にするとともに、Web サイト「DOON!Jr.」の構築や、対象となる年代が普段から慣れ親しんでいる SNS に着目し、「DOON!Jr.」SNS 版の有効活用による多数のフォロワー獲得などを通して、コミュニティ形成に特筆すべき大きな成果をあげたといえる。

特に教育委員会の巻き込みや教育庁協力のもと公立高校全校生徒へのアプローチなど、継続的な取組に繋がる仕掛けは優れたものであり、他の地域のモデルケースとして引き続き取組んでいただき、対象となる年代がさらに参加しやすくなる環境の構築を進めてほしい。

5-6 Peace & Science Innovation Ecosystem (PSI)

1. 活動概要 (PSIの実施報告書より引用)

Peace & Science Innovation Ecosystem (以下 PSI) の目指すプラットフォームの姿は、「楽しく・生き生き・自然とともに過ごせる平和な社会(地域版・Well-being)を実現」である。この姿を達成するために、「平和」をテーマにしたアントレプレナーシップ教育を中四国地域の関係者の総力を結集して高校生等に「平和希求型人材(※)」の育成を行った。

(※) 自然を大切に作る心、自分と関わる人を幸せにする心、自分を大事にする心を有する人材「平和を希求する精神」は、広島大学の重要な理念の5原則の一つであり、全てのプログラムにおいて、「平和を希求する精神」を意識させつつ、アントレプレナーシップ教育に資する内容になるよう留意し、PSI の目指すビジョンに向かって貢献することを計画した。

直接的に「平和」をテーマとしたプログラムではなく、「探求活動の発展」を意識したプログラムを意識させることで興味関心を抱かせ、プログラム参加を促進した。その中で「共感力(コンピテンシー)の向上」、「生き方や働き方を見つめ直す新たなキャリア支援」、「挑戦する精神」などを育むプログラムを経験することにより、PSI の目指すプラットフォームの姿に貢献した。

2. 評価結果

総合評価:A

3. 総合評価結果

受講者数は当初の目標を大きく上回り、今後の展開と質の向上に大変期待が持てる。さらに、教員や保護者への教育プログラムを実施したことは注目すべき取り組みであり、特に教育委員会を巻き込んでいる点を高く評価する。

なお、作成コンテンツの現場での活用がよりいっそう進むよう、継続的な利活用の工夫や改良なども重要である。

今後、広島・岡山などで構築した良い取組が、プラットフォーム内の他地域にうまく展開され、広がることを期待したい。

5-7 Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem(PARKS)

1. 活動概要 (PARKS の実施報告書より引用)

PARKS(Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem)は、令和4年度(2023年度)、九州・沖縄圏全域で高校生等を対象とした「アントレプレナーシップ教育」を実施した。具体的には、PARKS 参画機関のうち、九州大学、九州工業大学、北九州市立大学、福岡大学、第一薬科大学、大分大学、長崎大学、佐賀大学、福岡工業大学、宮崎大学、沖縄科学技術大学院大学の全11大学が、九州・沖縄圏全域の小・中・高校生を対象に、全38プログラム(別表)のアントレプレナーシップ教育プログラムを展開した。本プログラムの参加人数は前年度比約4倍に至り、九州・沖縄圏全域におけるアントレプレナーシップ教育の裾野拡大に貢献することができた。

2. 評価結果

総合評価:B

3. 総合評価結果

プログラム数および受講者数の増加に努めており、受講者数については目標値を上回っている。また、教材をマニュアル化しオンデマンドで受講できる体制を構築するとともに、プログラムのメンターとして大学生を起用するなど、持続的な実施に向けた取組が進められている。

一方で、小・中学生を対象としたプログラムの一層の充実を期待しており、小・中学生向けのプログラムは起業をテーマとしたものが多いため、受講者の興味を深めるような内容がよいと考える。また、メディアへの露出やSNSの活用を強化することで更なる受講者数増加に努めるとともに、教育委員会との連携を深めることで活動の継続性を高めてほしい。

アーカイブシステム構築という取組は評価できるが、外部要因によって構築が未完了となってしまったことが残念だった。今後はバックアッププランの準備などに留意することが必要である。